

2016年(平成28年)3月期
第3四半期決算の概要

株式会社ゆうちょ銀行
2016年2月12日

第3四半期決算の概要

当第3四半期(累計)の経営成績

(億円、%)

	2015.4~ 2015.12	2014.4~ 2014.12	増減
業務粗利益	11,379	12,523	△ 1,144
資金利益	10,607	11,771	△ 1,164
役務取引等利益	707	677	+ 29
その他業務利益	65	75	△ 9
経費 ※	8,011	8,542	△ 531
一般貸倒引当金 繰入額	△ 0	—	△ 0
業務純益	3,369	3,981	△ 612
臨時損益	521	217	+ 303
経常利益	3,890	4,199	△ 308
四半期純利益	2,660	2,800	△ 139
経常収益	15,061	15,684	△ 623
経常費用	11,171	11,485	△ 314
	2015.12末	2014.12末	増減
単体自己資本比率 (国内基準)	27.93	43.36	△ 15.42

※ 臨時処理分を除く。

概要

- 当第3四半期(累計)の業務粗利益は、前年同期比1,144億円減少の1兆1,379億円。
このうち、資金利益は、外国証券利息が増加した一方、国債利息が減少したことを主因に、前年同期比1,164億円の減少。役務取引等利益は、投資信託・ATM関連手数料等の増加により、前年同期比29億円の増加。
- 経費は、預金保険料率引き下げを主因に、前年同期比531億円減少の8,011億円。
- 歴史的な低金利が継続する厳しい経営環境下、業務純益は前年同期比612億円減少の3,369億円、経常利益は前年同期比308億円減少の3,890億円。
- 四半期純利益は2,660億円、前年同期比139億円の減益。
通期業績予想の当期純利益3,200億円に対し、83.1%の進捗。

(億円、%)

	2015.4~ 2015.12	2015年度 通期業績予想	進捗率
経常利益	3,890	4,600	84.5
当期(四半期) 純利益	2,660	3,200	83.1

営業の状況

- 資産運用商品(投資信託・変額年金保険)の販売が好調。貯金残高は安定的に推移。

投資信託 販売金額(各期)

2015.4~ 2015.12	2014.4~ 2014.12	増減
3,343億円	2,816億円	+ 527億円

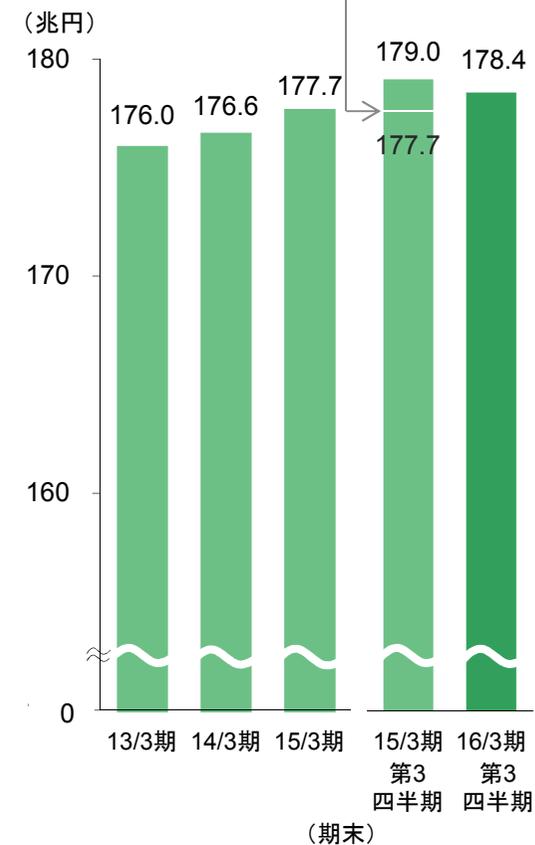
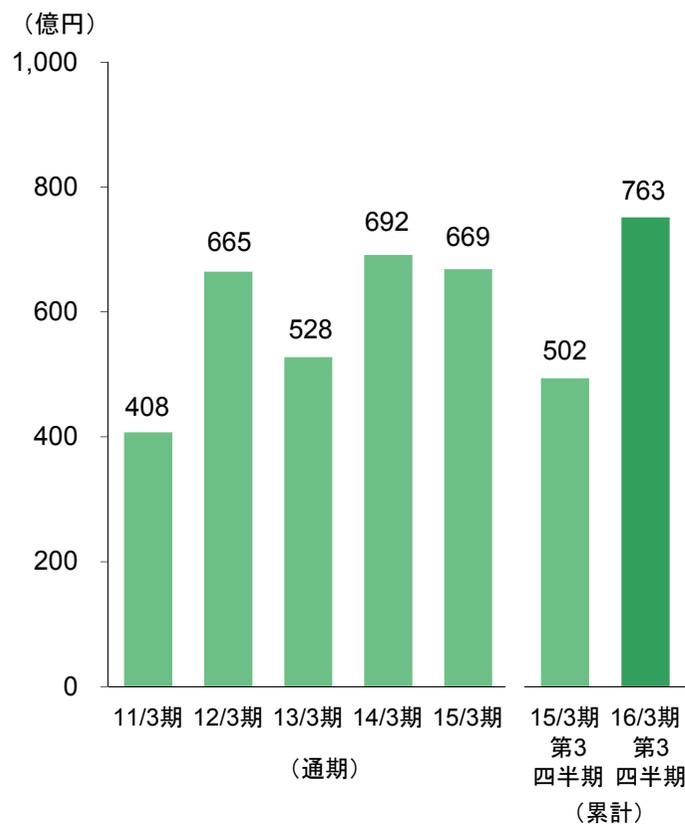
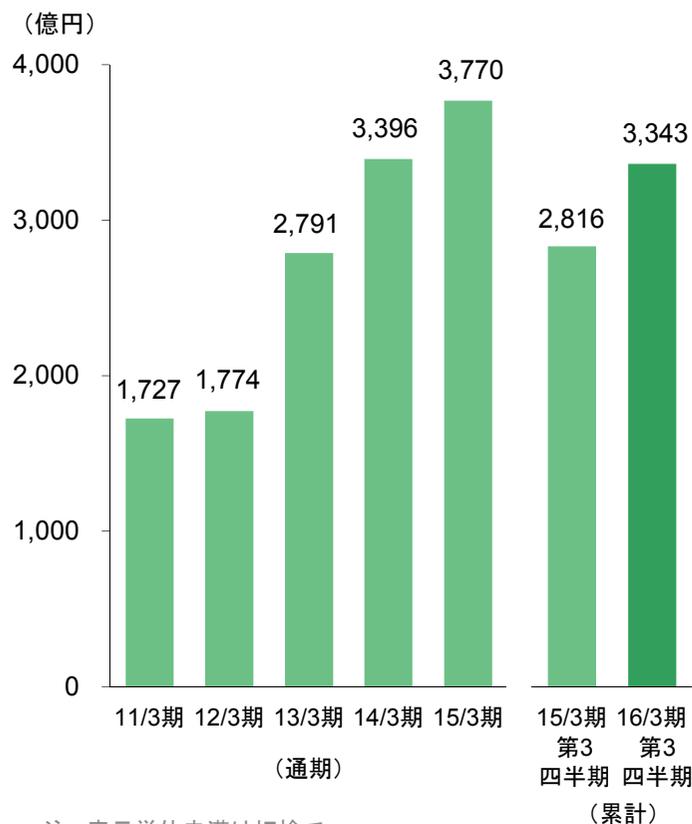
変額年金保険 販売金額(各期)

2015.4~ 2015.12	2014.4~ 2014.12	増減
763億円	502億円	+ 260億円

貯金残高(各期末)

2015.12末	2014.12末	増減
178.4兆円	177.7兆円	+ 0.6兆円

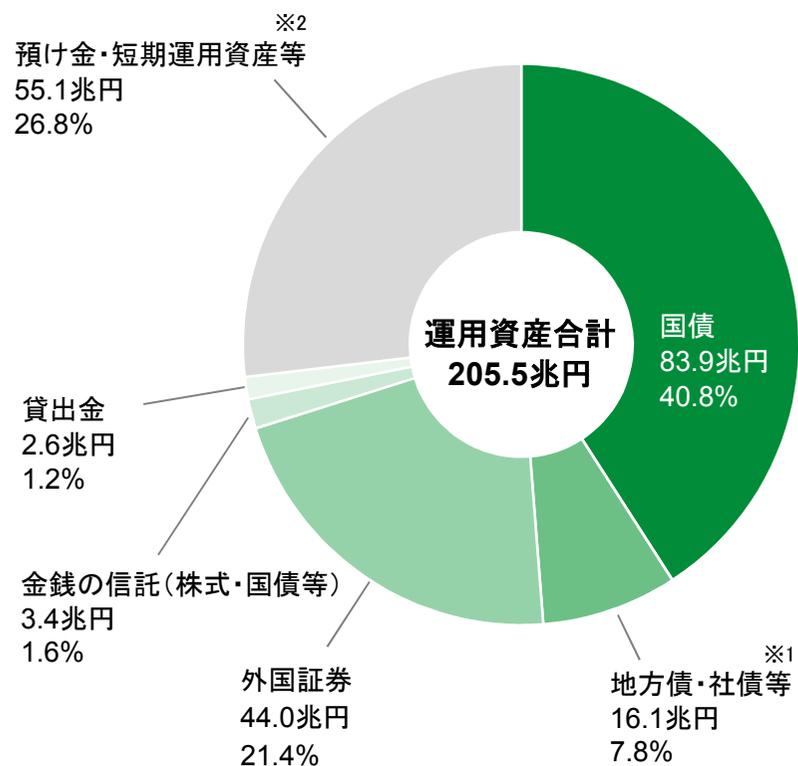
※当行の自己株式取得に係る代金の預入分を除いた増減
(1.3兆円)



注：表示単位未満は切捨て。

資産運用の状況

■ 運用資産は、国債等の有価証券が144.2兆円、貸出金が2.6兆円。



区分	(億円)				
	2015.12末	構成比 (%)	2015.3末	構成比 (%)	増減
貸出金	26,270	1.2	27,839	1.3	△ 1,569
有価証券	1,442,370	70.1	1,561,697	75.8	△ 119,327
うち国債	839,723	40.8	1,067,670	51.8	△ 227,946
うち地方債	56,222	2.7	55,251	2.6	+ 971
うち短期社債	2,189	0.1	2,269	0.1	△ 80
うち社債	103,374	5.0	107,560	5.2	△ 4,186
うち外国証券	440,845	21.4	328,936	15.9	+ 111,908
金銭の信託 (株式・国債等)	34,792	1.6	34,916	1.6	△ 123
預け金・短期運用資産等	551,862	26.8	434,199	21.0	+ 117,662
運用資産合計	2,055,295	100.0	2,058,654	100.0	△ 3,358

※1 「地方債・社債等」は地方債、短期社債、社債等。

※2 「預け金・短期運用資産等」は譲渡性預け金、日銀預け金、コールローン、債券貸借取引支払保証金、買入金銭債権等。

本資料に記載されている業績予想等将来に関する記述は、当行が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、市場金利や外国為替相場の変動等、様々な要因により大きく異なる可能性があります。